

第86期 第2四半期 株主報告書

平成30年4月1日から平成30年9月30日まで



西部電機株式会社

証券コード 6144



平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第86期第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）の決算が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

平成30年12月

取締役社長 **宮地敬一郎**
Keishiro Miyaji

新中期経営計画「チャレンジ240」

Q 当第2四半期の決算のポイントについて教えてください。

A 中間決算として2年ぶりの増収となり、利益は過去最高となりました。

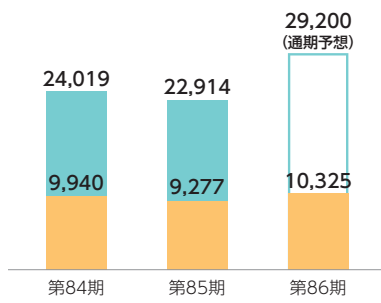
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中、緩やかな景気回復基調が続きました。しかしながら、米国の保護主義的な政策が貿易摩擦を拡大させ、中国をはじめとする新興国経済の減速など海外経済の下振れリスクを抱えております。

この様な情勢の中で、2018年度から2020年度までの新中期経営計画「チャレンジ240」を策定し、当社グループはどのような環境下にあっても、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜くべく、全社を挙げて努力してまいりました。

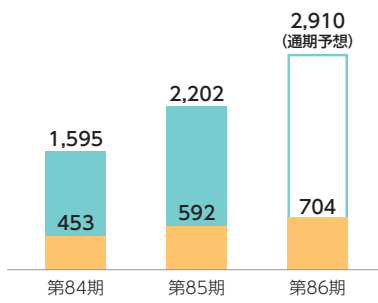
業績ハイライト・Financial Highlights

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位：百万円・%)

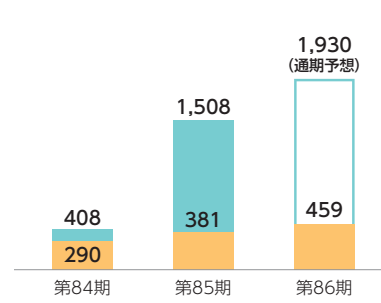
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



を策定し、チャレンジ精神で新たな市場の開拓を進めます

当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は大口物件の成約や輸出の増加もあり、154億8千9百万円(前年同期比30.2%増)となりました。売上高は輸出が堅調に推移し、103億2千5百万円(前年同期比11.3%増)となりました。また、損益においては、経常利益は7億4百万円(前年同期比18.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億5千9百万円(前年同期比20.4%増)となりました。

Q 下期へ向けての見通しはいかがですか？

A 米中の貿易摩擦等の懸念材料もありますが、企業体質の強化と着実な安定成長の確保に努めます。

当社グループといたしましては、危機感をもって経済環境の変化を捉え、チャレンジ精神で新たな市場の開拓を進め、市場競争に打ち勝って行く所存であります。さらには、コストダウンや経費の削減に一層注力し、企業体質

の強化と着実な安定成長の確保に努めてまいります。

なお、通期の連結業績見通しとしては、売上高292億円(前期比27.4%増)、経常利益29億1千万円(前期比32.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益19億3千万円(前期比28.0%増)を計画しております。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

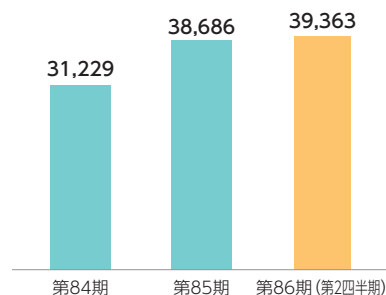
A 当第2四半期末の配当金は、1株当たり15円とさせていただきます。

当社は安定的な配当を継続して行うことを基本方針としており、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期の展望、財務状況等を考慮し、これに対応した配当を決定すべきと考えております。

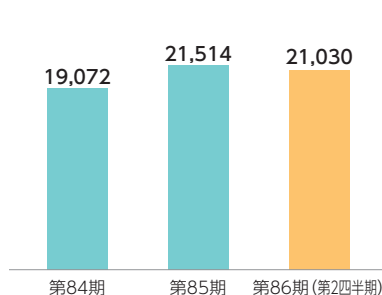
当第2四半期末の配当金につきましては、1株当たり15円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

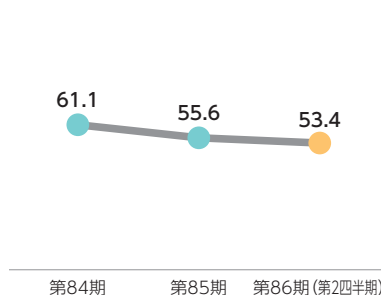
総資産



純資産

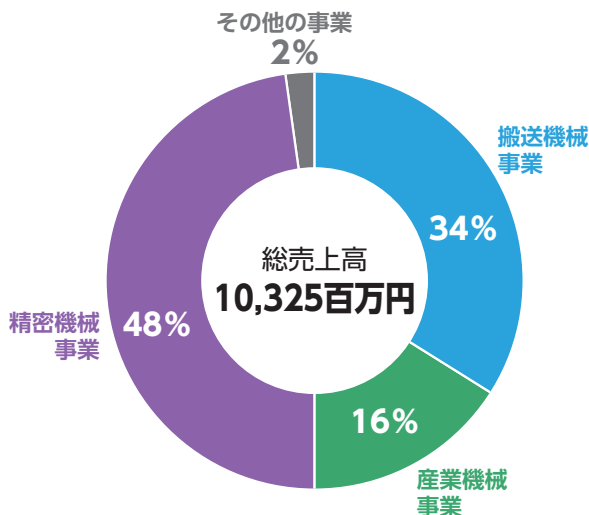


自己資本比率

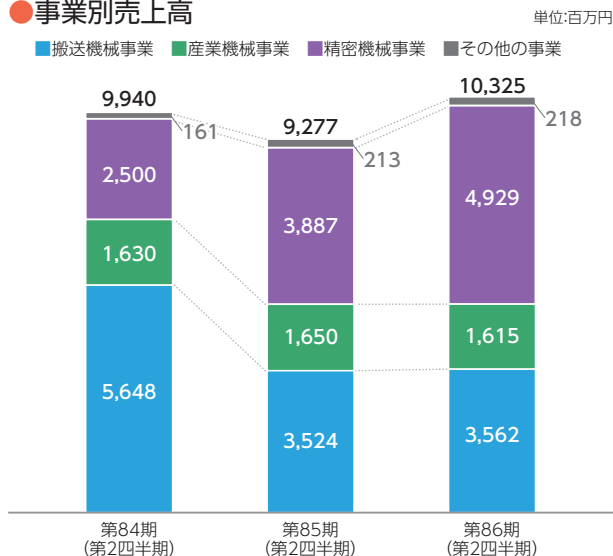


主要な事業別営業の概況 ・ *Operating Overview*

● 事業別売上高構成比



● 事業別売上高



搬送機械事業

売上高 **3,562**百万円 (前年同期比1.1%増)

搬送機械事業では、既存顧客からの大型システムのリピート受注、自動倉庫や製造業の生産・物流分野などに、ピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともにサービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。その結果、受注高は大口物件の成約もあり、77億1千6百万円(前年同期比69.6%増)、売上高は、35億6千2百万円(前年同期比1.1%増)となりました。

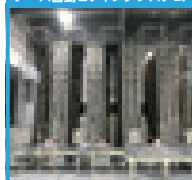
主要商品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム
- ロボティクスマテハン

FAシステム



ケース自動ピッキングシステム



オリコン段積ロボ



TOPICS 国際物流総合展2018に出展

会期：9月11日(火)～9月14日(金)

会場：東京ビッグサイト(東京国際展示場)

搬送機械事業では、『共に新たなステージへ～ロボティクス・マテハン～』をテーマに4機種の無人化、省力化機器、「ピースピッキングシステム」、「多品種混載パレタイズロボ」、「コンテナ積み降ろしロボ」、「電動アシスト台車」を出展いたしました。

『ロボティクス・マテハン®』とは、今まで当社が培ってきた『メカトロメーション』と最新のロボット技術(RT)、さらには情報通信技術(ICT)などを組み込んだ、独自の新たなソリューションです。

深刻な労働力不足は、今や大きな社会問題となり、早急な対応が各企業に求められている中で、今回出展した機器は時代に即したソリューションであり、新たなSEIBUブランドの柱として、受注の獲得・拡販を図ってまいります。

ROBOMAT.



多品種混載パレタイズロボ

産業機械事業

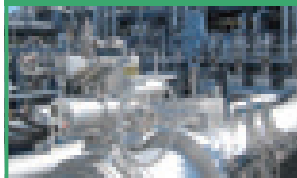
売上高 **1,615**百万円 (前年同期比2.2%減)

産業機械事業では、民間需要の掘り起こしやゲート分野を中心とした既存市場におけるシェアアップ、サービス・メンテナンスに注力してまいりました。その結果、受注高は26億1千6百万円(前年同期比1.1%増)、売上高は16億1千5百万円(前年同期比2.2%減)となりました。

主要商品

- バルブアクチュエータ
- ゲート駆動装置

バルブアクチュエータ・プラント



ゲート駆動装置(大型60t)



TOPICS タイでの生産・販売拠点、設立準備開始

産業機械事業では、タイを起点に東南アジアのインフラ市場への参入を計画しています。

6月6日～9日、バンコクで開催された「Pumps and Valves Asia 2018」に出展し、多くの



タイ(GWE)工場アセンブリ 第1号(Semflex-VM-01)企業(115社・約400名)にご来場いただきました。来場されたお客様より大口案件の引き合いもいただき、順調に受注を伸ばしています。

また、海外市場の特徴でもある短納期対応やASEAN諸国への拠点づくりのため、タイ代理店GWE社(Green Water Engineering)と提携し、同社の関連工場での生産・品質・コスト評価を実施いたしました。来期より本格的なライセンス生産を開始し、市場競争力のある製品と営業ネットワークの構築で拡販を図ってまいります。

精密機械事業

売上高 **4,929**百万円 (前年同期比26.8%増)

精密機械事業では、新規顧客や海外市場の開拓に注力してまいりました。その結果、市場の高精度機要求に支えられ、放電機械の中国向け輸出が堅調に推移し、受注高は49億5千7百万円(前年同期比9.3%増)、売上高は49億2千9百万円(前年同期比26.8%増)となりました。

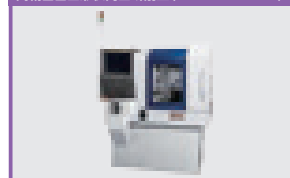
主要商品

- 超精密・高精度ワイヤ放電加工機
- 高精度小形NC旋盤
- 超精密ワイヤ放電加工機(油仕様)
- 正面旋盤

超精密ワイヤ放電加工機(MEX15)



高精度自由形状内面研削盤(SFG-35P/HP/UP)



TOPICS ワイヤ放電加工機と協働ロボットの自動化システム開発

精密機械事業では、国内外からの高生産性の市場要求に対応するため、ロボットによる自動化システムを構築しています。

4月18日～21日に大阪、6月13日～16日に名古屋で開催されたインターモールド2018では、協働ロボットによるワーク搬入出とコア・ステッチ、コア・キャッチのオンリーワン技術で、従来不可能であった金型のダイブレード加工を完全自動化するシステムを展示して注目を集めました。

今後、ますます効率化が求められる市場要求に応えるため、多種多様の精密加工ワークに対応する自動化を見据えた新機構の機械開発とロボットシステムの構築をさらに進めてまいります。



連結財務諸表(要約) ・ Financial Statements

単位:百万円(金額は単位未満を切り捨てております。)

■ 第2四半期連結貸借対照表

科 目	第86期第2四半期	第85期
	平成30年9月30日	平成30年3月31日
資産の部		
流動資産	24,471	23,280
固定資産	14,891	15,405
有形固定資産	9,520	9,445
無形固定資産	8	9
投資その他の資産	5,362	5,950
資産合計	39,363	38,686
負債の部		
流動負債	14,648	12,997
固定負債	3,684	4,174
負債合計	18,333	17,171
純資産の部		
株主資本	15,472	15,361
資本金	2,658	2,658
資本剰余金	2,616	2,616
利益剰余金	10,201	10,091
自己株式	△4	△4
その他の包括利益累計額	5,558	6,153
純資産合計	21,030	21,514
負債純資産合計	39,363	38,686

■ 第2四半期連結損益計算書

科 目	第86期第2四半期	第85期第2四半期
	平成30年4月1日から平成30年9月30日まで	平成29年4月1日から平成29年9月30日まで
売上高	10,325	9,277
売上原価	7,396	6,756
売上総利益	2,929	2,520
販売費及び一般管理費	2,268	1,941
営業利益	660	579
営業外収益	54	36
営業外費用	10	23
経常利益	704	592
特別利益	—	0
特別損失	0	0
税金等調整前四半期純利益	703	592
法人税、住民税及び事業税	263	132
法人税等調整額	△18	78
四半期純利益	459	381
親会社株主に帰属する四半期純利益	459	381

■ 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第86期第2四半期	第85期第2四半期
	平成30年4月1日から平成30年9月30日まで	平成29年4月1日から平成29年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,546	1,860
投資活動によるキャッシュ・フロー	△464	△99
財務活動によるキャッシュ・フロー	△901	△118
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	180	1,641
現金及び現金同等物の期首残高	11,194	7,409
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,374	9,051

会社概要・Corporate Profile

平成30年9月30日現在

会社の概況

商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co., Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	昭和14年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	445名(連結498名)

役員

取締役社長(代表取締役)	宮地 敬四郎
専務取締役	藤岡 敬正
常務取締役	税所 幸一
取締役	中里 晋也
取締役	溝田 安彦
取締役	塩川 秀樹
取締役	佐藤 徳生
社外取締役	井上 信之
常勤監査役	大串 秀文
社外監査役	小西 正純
社外監査役	大塚 丈徳

事業所



株式の状況

発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	1,816名

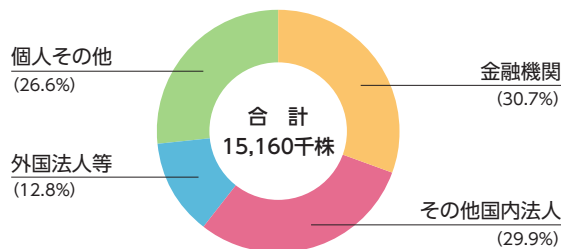
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社安川電機	2,630	17.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,619	10.6
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,308	8.6
株式会社豊田自動織機	1,106	7.3
株式会社三菱UFJ銀行	650	4.2
株式会社福岡銀行	633	4.1
みずほ信託銀行株式会社	626	4.1
株式会社西日本シティ銀行	589	3.8
MSIP CLIENT SECURITIES	541	3.5
西部電機従業員持株会	389	2.5

(注)1. 持株比率は自己株式(10,208株)を控除して計算しております。

2. シンプルクス・アセット・マネジメント株式会社から平成29年8月24日付で提出され、公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、平成29年8月17日現在同社が3,303,900株(保有割合21.79%)を保有している旨が記載されております。しかし、当社として当第2四半期会計期間末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

所有者別株式分布状況

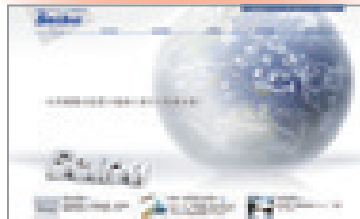


株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.seibudenki.co.jp/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

ホームページのご案内

当社Webサイトでは、事業内容やIR情報などがご覧いただけます。



<http://www.seibudenki.co.jp/>

または、

西部電機

検索

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合【特別口座の株主様】
お問合せ先	お取引の証券会社等になります。 (ただし、支払明細発行については、右記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。)	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所、プラネットブース (株式会社みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店にてお取扱いたします。(みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)	

株主優待制度のお知らせ

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を向上させ、より多くの株主様に中長期的に保有していただけることを目的に、株主優待制度を実施しております。

株主優待制度の概要	(1) 対象となる株主様	3月末現在の株主名簿に記載された当社株式 1単元(100株)以上保有の株主様。
	(2) 優待内容	保有株式数100株以上でクオカード1,000円分を 進呈いたします。
	(3) 贈呈時期	定時株主総会終了後の6月下旬の発送を予定して おります。



表紙の絵は、本社玄関フロアに展示されている陶版画で、奥入瀬深流の四季をモチーフに「自然随順」を表現しております。

当社が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で謙虚さと誇りをもって商品を作り、広く世界に貢献することを宣誓しています。

西部電機株式会社

●お問い合わせ先

〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号 TEL:092-941-1500(代表)



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。